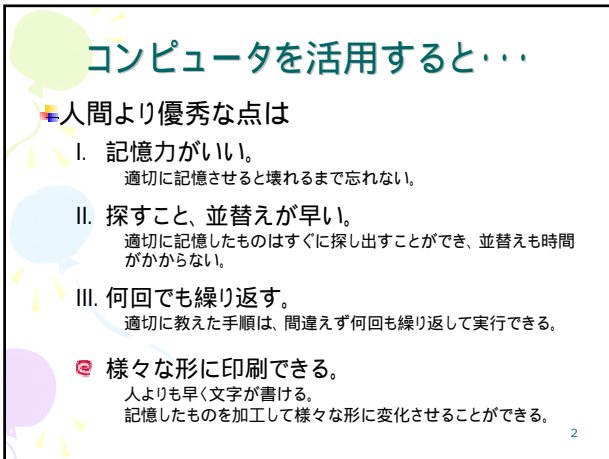




LIMEDIOにおける Crystal Reports® 活用術

**帳票カスタマイズの具体例と
データ集計コード設計上の留意点**

1



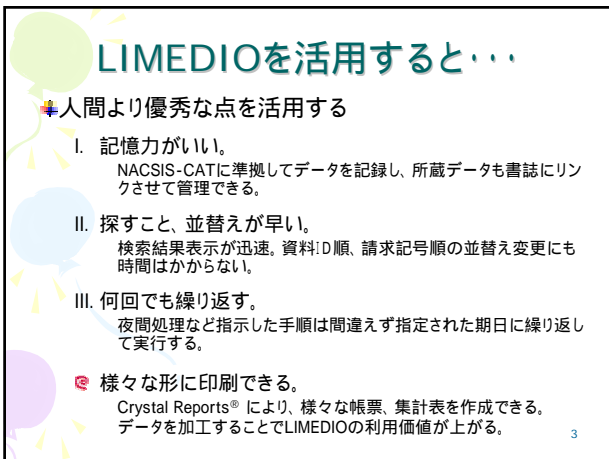
コンピュータを活用すると...

★人間より優秀な点は

- I. 記憶力がいい。
適切に記憶させると壊れるまで忘れない。
- II. 探すこと、並替えが早い。
適切に記憶したものはすぐに探し出すことができ、並替えも時間がかからない。
- III. 何回でも繰り返す。
適切に教えた手順は、間違えず何回も繰り返して実行できる。

☑ 様々な形に印刷できる。
人よりも早く文字が書ける。
記憶したものを加工して様々な形に変化させることができる。

2



LIMEDIOを活用すると...

★人間より優秀な点を活用する

- I. 記憶力がいい。
NACSIS-CATに準拠してデータを記録し、所蔵データも書誌にリンクさせて管理できる。
- II. 探すこと、並替えが早い。
検索結果表示が迅速、資料ID順、請求記号順の並替え変更にも時間はかからない。
- III. 何回でも繰り返す。
夜間処理など指示した手順は間違えず指定された期日に繰り返して実行する。

☑ 様々な形に印刷できる。
Crystal Reports® により、様々な帳票、集計表を作成できる。
データを加工することでLIMEDIOの利用価値が上がる。

3

他社システム帳票ツールとの比較

■他社システムの場合

データの抽出項目を入力して抽出する。
 データをCSV形式に所定の場所に保存する。
 MS-Excel・MS-Accessなどの図書館システム以外のアプリケーションで加工して帳票を作成する。(マクロなどを利用する。)

■LIMEDIOの場合

LIMEDIOでデータの抽出項目を入力して抽出する。
 LIMEDIOのプルダウンメニューでCrystal Reports®帳票を選択して帳票を出力する。

■帳票設計の自由度は低い。

■ユーザー・カスタマイズ帳票の作成ツールとして極めて有効である。

Crystal Reports® 活用術-

■一覧表と集計表の長所・短所

■一覧表の特徴

- ▶ 全てのデータを確認できる。
- ▶ 集計結果だけを手早く確認することが出来ない。

■集計表の特徴

- ▶ ある特定部分の集計結果を手早く確認できる。
- ▶ 一部の間違いデータを確認できない。

■一覧表と集計表の利用方法

- ▶ 同じデータから、両方の帳票をプルダウンで選択して利用する。

■帳票例 (支払関係帳票 図書・雑誌) A・B・C・D

Crystal Reports® 活用術-

■帳票例 A

図書の支払帳票。「受入明細書」 P. 7

■帳票例 B

図書の支払集計表。「LIMEDIO-図書-予算執行額集計-学科別」 P. 8

■帳票例 C

雑誌年精算の支払帳票。「受入明細書」 P. 9

■帳票例 D

雑誌年精算の学科別集計表。「雑誌発注集計表」 P. 10

Crystal Reports® 活用術- +

✚ 会計システム用支払伝票データ作成
(MS-AccessマクロでのCSVファイル生成)

1. 支払番号によるデータの抽出、「Excelへのコピー」からMS-ExcelでのCSV形式での保存。
 - ▶ 図書・雑誌月精算の場合は「目録帳票」で行う。
 - ▶ 雑誌年精算の場合は「発注一括管理」で行う。
2. 保存したCSVファイルをMS-Accessマクロで加工。
 - ▶ 所定場所にあるCSVファイルをMS-Accessマクロで会計システムにインポートできる形に集計・加工する。
3. 会計システムでCSVファイルをインポートして起票。
 - ▶ 会計システムで所定のCSVファイルをインポートして起票する。

◎ 手作業を減らす 入力ミスの激減 7

データ集計コード設計上の留意点

✚ コード表の役割、働き、効用
1.識別 2.分類 3.配列 4.表意

✚ コードの種類(抜粋) -

一連番号

- 連続して番号を振るもの。
北海道:01 青森:02 秋田:03 岩手:04

均等与量

- 連続して番号を振らないもの。
北海道:01 青森:03 秋田:05 岩手:07

ブロック分類

- 全体をいくつかのブロックに分けてブロックごとに一連で番号を振ってしまう。
北海道:01 青森:11 秋田:12 岩手:13
北海道:01 青森:11 秋田:13 岩手:16 … との融合 8

データ集計コード設計上の留意点

✚ コードの種類(抜粋) -

末尾分類

- 最後の桁に意味をもたせるもので、末尾が奇数なら男性、偶数なら女性という具合に番号を振る。

エラー検査

- 最後の桁にチェックデジットを持たせるコード。資料IDなど。

十進分類法

- おなじみNDCなどの図書分類法。

桁別分類法(識別分類コード)

- 詳細 次のページへ 9

データ集計コード設計上の留意点

◆桁別分類法(識別分類コード)作成時の留意点

属性の選択

- どのように集計・配列するか、どのように検索するか考案する。

分類の体系化

- 重要度に応じて整理する。何が必要か調査する。

個々の属性値の決定

- 各必要分類の値を決定する。

コードの決定

- 各部分を定義して全体をレイアウトする。

10

データ集計コード設計上の留意点

◆桁別分類法(識別分類コード)の実際
(奈良大学図書館の場合)

予算単位

- 別紙「 . 予算単位コードの設定」 P. 1
- 学科コード2桁、連番3桁(うち1桁グループコード)

所在

- 別紙「 . 所在コードの設定」 P. 4
- 資料区分1桁、場所区分2桁、和洋区分1桁

受入先(業者コード)

- 別紙「 . 受入先(業者コードの設定)」 P. 6
- 業者形態区分1桁、連番4桁

11

Crystal Reports® 活用術-

◆同一データから様々な帳票を作成

- コンピュータの特長を生かした印刷
 - ▶ 形をかえて(切り口を変えて・考え方を改めて)情報を作成する。
 - ▶ “字を書くことが早い”長所を存分に利用する。
 - ▶ コンピュータを部下にする。味方にする。お付き合いさせる。
- 帳票例(支払関係帳票 図書・雑誌) E・F・G・H・I

12

Crystal Reports® 活用術-

- ✚ 帳票例 E
LIMEDIOからテブラでの印刷例。 P. 11
- ✚ 帳票例 F
蔵書点検時の検索カード。「検索カード」 P. 12
- ✚ 帳票例 G
未製本雑誌の配架場所のタイトルごとの表示。
「雑誌タイトルリスト」 P. 13
- ✚ 帳票例 H
装備チェック帳票。
「図書所蔵一覧-ラベルチェック」 P. 14
- ✚ 帳票例 I
請求記号ラベル。 P. 15 a・b

13

Crystal Reports® 活用術-まとめ

- 出来ないことは出来ない。
 - ▶ プログラム言語ではない、もちろん人間ではない。
- コンピュータの特長を生かした印刷が可能。
 - ▶ コードデータとの兼ね合いで、利用しにくい場合がある。
- コンピュータの有効活用とは？
 - ▶ 人間より優れた部分を活用し、頭脳の増幅器として利用する。うまく使えば「**うまく使うの2乗**」になり、使えなければその逆となる。
- ④ 100%論理的に行動するということは？
 - ▶ おそれず。ひるまず。あきらめず。

14

参考文献

システム設計速習読本：南條優のSEパワーアップ / 南條優著。 - 東京：学習研究社，1992.7。 154p；26cm

isonoh@aogaki.nara-u.ac.jp
http://library.nara-u.ac.jp/

15
